

令和 8 年

# 第 5 回教育委員会会議録

(開会 令和 8 年 4 月 24 日)

(閉会 令和 8 年 4 月 24 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和8年4月24日午後2時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

### 出席委員

堀部好彦君（教育長）

小栗照代君（教育委員）

瀬川登美子君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

### 説明のために出席した者

宮原伴典君（事務局長）

上北泰久君（学校教育課長）

奥田晋也君（学校教育課主任指導主事）

平野靖之君（学校教育課指導主事）

瀧花英志君（地域協働課地域支援係長）

倉知真弓君（教育総務課長）

後藤道広君（学校給食センター所長）

杉本和昭君（教育研究所主任指導主事）

青木裕介君（教育研究所指導主事）

### 出席委員会事務局職員

山田雄太君（教育総務課総務係長）

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

### 日程及び審議結果

1 開 会

2 令和8年度転入職員の紹介

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①報告第3号 令和8年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動について（原案承認）

②報告第4号 可児市学校運営協議会委員の委嘱について（原案承認）

③報告第5号 可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について（原案承認）

④報告第6号 可児市社会教育委員の解嘱及び委嘱について（原案承認）

⑤議案第13号 令和8年度可児市教育委員会の方針と重点について（原案可決）

⑥議案第14号 令和8年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会の設置について（原案可決）

6 報告事項

- ・可児市教育情報セキュリティポリシーの公表について
- ・教育長への事務委任により委嘱又は任命した委員について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

### 開会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、ただいまから令和8年第5回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するというところでよろしくお願いいたします。

### 令和8年度転入職員の紹介

- **教育長（堀部好彦君）** 今年度転入職員の紹介をいたします。

- **事務局長（宮原伴典君）** 皆さん、こんにちは。

今年度、定期人事異動によりまして、4月1日付で新規採用職員を含めて12名の者が教育委員会事務局のほうに異動してきておりますので、順次自己紹介のほうをさせていただこうと思いますので、よろしく申し上げます。

まず、私がこの4月から事務局長になります宮原です。3月まで高齢福祉課長のほうの任務についておりました。よろしく申し上げます。

- **教育総務課長（倉知真弓君）** この4月から教育総務課長を務めさせていただくことになりました倉知真弓です。よろしく申し上げます。

- **学校教育課長（上北泰久君）** この4月から学校教育課の課長になりました上北泰久と申します。よろしく申し上げます。

- **教育研究所主任指導主事（杉本和昭君）** 4月より教育研究所主任指導主事となりました杉本和昭と申します。

昨年度までは土田小学校のほうで教頭としてお世話になっておりました。よろしく申し上げます。

- **教育総務課総務係長（山田雄太君）** 教育総務課の総務係長をやらせていただいています山田雄太です。よろしく申し上げます。

- **学校教育課課長補佐（河地直樹君）** 学校教育課の4月から配属になりました河地直樹です。よろしく申し上げます。

- **学校教育課学校支援係長（池田麻実君）** 学校教育課学校支援係の池田と申します。よろしく申し上げます。

- **学校教育課指導主事（青山岳史君）** 今年度4月から学校教育課に配属されました青山岳史と申します。よろしく申し上げます。

- **教育研究所指導主事（赤塚裕美君）** 教育研究所の赤塚と申します。よろしく申し上げます。

- **学校教育課主査（奥平美由紀君）** 4月から学校教育課に異動してきました奥平美由紀と申します。よろしく申し上げます。

- **学校教育課主事（今 晴希君）** 4月1日付で可児市役所のほうに入庁いたしました学校教育課の今晴希と申します。よろしく申し上げます。

- **事務局長（宮原伴典君）** また、1人欠席していますが、教育総務課に主任技術員の柴田雅也さんが土木課から異動してきております。

以上で12名となります。よろしく申し上げます。

- **教育長（堀部好彦君）** まだ慣れないとは思っているんですけど、転入の職員については。でも、本当にすごいと思っています。慣れないんだろうけれど、職務を理解しようとして、前からいる職員と一緒に頑張って一生懸命やってくださっている姿を見せていただいております。本当にお疲れさまです。ありがとうございます。

では、そちらに座ってくださっている方は退席ということで、ありがとうございます。

（新規転入職員（説明のために出席した者以外）退席）

今の転入職員の方で、一番手前にいらっしゃった方は河地さんですけれども、福祉部長を3月までやっておられた方で、役職定年の後、今のポストでということをやっていると思います。大変腰の低い方で、本当に500人規模の役所の部長まで上り詰めた方なだけけれども、すごいなど。そういう謙虚さというんですか。そんなことも思っています。

また、事務局の最前列のうちの3人とその後ろの1人、つまり幹部が本当に多く替わりました。事務局長、それから教育総務課長、学校教育課長、教育研究所主任指導主事、4名一週に替わりました。これ、比べるのはちょっと難しいかもしれないんだけど、学校で言えば、校長、第1教頭、第2教頭、教務主任が一週に替わったのと同じだと私は思っています。そういった中でも、私はこれまで3週間以上過ぎましたが、大丈夫かなんて思ったことは一度もなく、むしろ頼もしいなど思っております。本当に優秀な方々に来ていただいております。ありがとうございます。

## 教育長報告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、教育長報告でございます。

大きく3点お願いをします。

1点目ですが、4月10日、今年度初めて第1回の校長会を開催して、冒頭私が挨拶をさせていただいたんですけれども、その挨拶の中身を簡単に紹介させていただきます。学校日より、教育委員の皆さんに届きましたでしょうか。年度初めの学校日より読んで、大変うれしかったということをお伝えしました。校長先生方の意欲が非常に感じられる便りで、うれしく読ませていただいたことをお伝えしつつ、今年度の校長会のメンバー、校長の異動について話をさせていただきました。新任校長が2名です。皆さん御存じかと思いますが、新任はまず市外配置という話もあったんですが、私は県の教育委員会にそれは断りました。大変優秀な人材で、外から欲しいと言われるかもしれませんが、可児市の教育を支える上でなくてはならないお二人なので、お願いしますということで来ていただいたことをお伝えしました。

それから、教育委員会事務局や市外から3名ということで、新しく校長会のメンバーに入った方々、豊富な経験を生かしてお願いしますという話をさせていただきました。市外から3名の方々についても、これは可児市の方ですので、戻ってきた方でお帰りなさいという方です。それから、特例任用校長が2名いらっしゃいます。ますます高い志を立てて頑張ってくださいに敬意を表したいとお伝えをしました。

それから、あとの引き続き9名の方々については、可児市の教育の進化、変容していることをよく理解してくださっているの、そういう意味でリードをしてくださいということをお願いしました。

それから、願っていることを2つお伝えしました。

まず一番願っていることは、校長先生方が教職員と共に学校をつくり上げていく喜びを味わってくださいという話をさせていただきました。

それから、もう一点は「笑顔の“もと”」の話です。「笑顔の“もと”」の理念を踏まえて、どんな子供を育てたいのかを明確に示していただいて、それを実現するための特色ある教育活動を展開してくださいとお話をさせていただきました。

そのときに、このリーフレットの説明をさせていただいたということでございます。今日も教育委員の皆さんの机の上に配付していますが、これは今年度の私たちの学校教育指導に関するバイブルだと思ってください。これ、時々私これを使いながらお話をさせていただきたいと思っておりますので、できればこれをいつも持ってきていただけるとありがたいですし、これを読んでいただいて、学校訪問の折にどんなことを確かめようかなとか、どんなことをお話ししようかなということの参考にもなるんじゃないかと思っています。

今日は1点だけ説明をさせていただきます。リーフレットを開いていただいて真ん中のところですよ。

今年一番の重点は、この「笑顔の“もと”」ロゴマークの両端に書いてある「笑顔の“もと”」を育む包括的な教育支援です。これが今年度特にお伝えを、発信をしていきたいことです。昨年度もこの言葉を使っていたんですが、今年度はその具体を、この教育支援の具体を発信していきたいと思っております。今日はここまでにとどめますが、また次回以降、これを使った話もさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。これが1点目です。

2点目ですが、ばら教室の修了式に行ってきました。ばら教室の修了式は年に9回行われているんですけども、4月22日に行ってきました。そこでの様子を簡単にお話しさせていただきたいと思いますが、今回の修了生は、4人がフィリピン、2人がブラジル、1人がパキスタンの子でした。パキスタンの子は初めてかなと思っています。その子の様子ですが、本当に文化が全く違う中で、本人、御家族、それからばら教室の職員、戸惑いがいろいろあったんですけども、お互い理解し合いながら乗り越えて、修了式に参加して、次は新しい学校に行くということなんですけれども、中学のジャージを着るようになってから顔つきが変わってきたという話も聞きました。行く学校のジャージを着たら顔つきが変わってきたと。かわいらしいなと思います。

また、第2ばら教室に新たにフィリピン人の職員が加わりました。彼は2019年に来日、ばら教室で学んだ子なんですね。だから、その後、中学、高校を卒業して、社会人を経て、4月からばら教室の職員として子供たちのために日々頑張っているといううれしい話も聞いています。

それからもう一つ、この修了式で紹介をしたいんですけども、修了式は参加されたこと、皆さんありましたか。

瀬川さんはこれからだと思いますので、私が行けるときにまたお誘いしますので一緒に行きましょう。

○ 教育委員（瀬川登美子君） よろしくお願ひします。

○ 教育長（堀部好彦君） 修了式では、子供たちが自分が頑張ったことだとか、新しい

学校に行って頑張りたいこと、決意を述べる時間があります。

その中で、先日は7名の修了生がいたんですけれども、その中で中部中学校へ行く女子生徒の語りです。大変印象的だったので、少しずつ紹介していきます。

まず最初、こんなことを言いました。

ばら教室で日本語を勉強しました。言葉を忘れないようにノートに書きました。だから、だんだん分かるようになりました。

ノートにつづりながら日本語を覚えていったんですね。それから、次にこんなことを言っていました。

親は日本にいたので寂しかったです。今は心の距離が近くなりました。うれしいです。

これもぐっとくる言葉やね。親さんが日本での生活の基盤をつくるために、先に親さんは行っちゃうんやね。子供は母国に残っていて、フィリピンは特にそんな感じだと思うんですけど、母国に残っていて、生活の基盤が日本でできたところで日本に来る。寂しい思いをするんですよ。特に中学生ですので多感な時期ですよ。何で私一緒に行ってくれんのかなとか、連れていってくれないのかなとか、いろいろな思いがあったんでしょう。それで日本に呼んでもらって、寂しかったけれども、今は心の距離が近くなりました。うれしいです。この子の語り、あともうちょっとあるんですけれども、この語りの題名は「心の距離」という題名です。だから、最初に「心の距離。ばら教室で日本語を勉強しました。言葉を忘れないようにノートに書きました」というようにしゃべったんですね。題名がそういう題名なんですね。それから、こんなことも言っています。

中部中学校では、本や音楽が好きな仲間をつくりたいです。

音楽が得意で本が好きな子なんやね。学校生活での期待を語ってくれました。それから、こんなことも言っています。

来年は日本の高校に行きたいです。

と言っています。中3で、3年生として中部中学校に行くということやろうね。ぜひ高校へ行って、頑張っしてほしいと思っています。それから最後、これがまた泣かせる。

お父さん、お母さんに家を買いたいです。ありがとうございます。

と言っているんですね。この子の夢がかなうように、「笑顔の“もと”」を育ててやりたいと本当に強く思った次第でございます。これが2つ目です。

3つ目は、新規採用教職員研修会と金沢市で行われた東海北陸都市教育長協議会の定期総会・研究大会の2つで考えたことです。

まず4月1日、皆さんにも出ていただいた新規採用の教職員研修会ですが、そこで私がどのような気持ちで何を語ったのかということなただけれど、いろいろな思いがあったわけですが、このようなことも言いました。先生の「笑顔の“もと”」は何でしょうと。教師の「笑顔の“もと”」って何だろうと言いました。それは、教師としての志を忘れないことでしょうかと、今の熱い思いをずっと持ち続けてねと話をしました。

それから、もう一つは頑張り過ぎないことですよということで、今どきの特に若い先生方にはこのようなお話もさせてもらいました。これはどのような思いかというと、いろいろな思いがあったんだけど、私としては長く教員を続けてほしいという気持ちで話をしました。2年、3年で辞めて、違う仕事、職種に就く若い先生、またはワーキングホリデーで外国へ一旦行くと。そのときに辞めてしまうんですね。辞めて行く。そうい

った先生方が可児市にもいらっしゃる中で、長く教員を続けてほしいなという気持ちでそのようなお話をさせていただいた。

東海北陸の都市教育長協議会、4月16日、17日と1泊で金沢へ行ってきたんですが、そこで今のその思いを、また今申し上げたような思いを見詰めることができました。というのは、文部科学省、文科省の担当からの次期学習指導要領についてのお話があった。そこで、また今どきの先生ということをし少し思ったんですけれども、何かというと、文科省の担当の方が次期学習指導要領に向けた検討状況のお話をしてくださった。次期学習指導要領というのは、小学校は令和12年度、中学校は令和13年度から全面実施になりますが、今の学習指導要領、もう今終末というか、終わりかけになっていて、その時期にはもう次の学習指導要領の宣伝をしてもらえるんです。今、次期学習指導要領に向けてこんなことを検討しているという話をしてもらっているんですけれども、全部お話すると、すごい時間がかかってしまうのですが、その中で、今の子供たちに主体的に学び続ける力、生涯にわたって主体的に学び続ける力を身につけさせたいということの話もしておられました。

その話についてですが、なぜ生涯にわたって主体的に学び続けることを大切にしようという国はしているのか、今そういった検討をしているのかということの一つの理由に、人生100年時代です。60歳で定年で仕事を辞めるという時代も終わりになりつつあります。じゃあ何歳まで働くんだということになったときに、人生100年時代なんていうことが本格的になってきたときに、もう70歳、80歳まで働くということもあるんじゃないかと。そういった時代になってくるので、生涯にわたって主体的に学び続けて、どんな仕事でもできるようにしていくことが大切じゃないかということが背景にあるようです。

それからもう一つ、驚きましたが、2023年新入社員の「今の会社で何年働くか」という質問についての答え。「分からない」と言っているのが23%だそうです。新入社員。それから「定年まで」と言った子が19.1%、「10年以上働く」というのが8.8%、「6年から10年」というのが9%、「4年、5年」というのが16%、「3年以内」と言っているのが24.1%です。

だから、全部足し算すると「10年以内」で49.1%なんです。半分。半分为10年で替わると言っていて、転職が当たり前。その世の中の空気が教員にもあるということなんです。

さっきの話に戻りますが、可児市に配置された今年30名の教職員が10年とか3年とかで、辞めてほしくないと思いますよね。そのために何が必要なんだろうかと思うんですけれども、私たちができるのは、やりがいを持って、本当に教員の仕事は楽しいなど、やりがいがあるなど思い続けてくれる学校にしていくことが大切なのかなということをお願いしながら文科省の人の話を聞いてきました。

次期学習指導要領については、物すごい情報が今出始めています。それも勉強しながら、また皆さんにお伝えをしていこうと思っておりますので、よろしくお願ひします。

私からは以上です。

## 教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、教育委員報告に入ります。

○ **教育委員（梶田知靖君）** こんにちは。

私のほうからは、2点報告をさせていただきます。

4月1日に新規採用教職員研修会のほうへ出席をさせていただきました。今年度も多くの先生方が可児市の子供たちのために来てくださいます。本当にありがとうございます。また来月から学校訪問が始まりますので、そのときにまた新規採用の先生方の様子などをお伺いしたいと思っております。

2点目は、4月7日に蘇南中学校と今年度は土田小学校の入学式に出席をさせていただきました。蘇南中学校では、昨年度までこちらで課長を務められておりました木村校長の顔も拝見できて、元気そうに何とか頑張っておりますということでしたので、今後の活躍に期待したいと思います。

また、土田小学校では、入学式の最中に1人のお子さんがちょっと急に泣き出してしまって、多分親御さんと急に離れて寂しくなったのかなと思いますが、そこはうまく先生方がサポートに入ってくださって、和やかに落ち着いた入学式でした。

ここで1つ報告がありまして、蘇南中学校の校内教育支援センターの子供たちなんですけれども、3月、昨年度まで校内教育支援センターのほうに通っていた子供たちが数名いたんですけれども、この4月に入りまして、昨日の時点まで、担当していらっしゃる先生と私つながっております。先生にお話を聞いたところ、この4月から昨日までは、その子供たちが各教室でずっと過ごしているということをお聞きしましたので、御報告させていただきます。これからも校内教育支援センターの様子も確認しながら努めていきたいと思っております。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

校内教育支援センターの先生とつながっているというのは、そういった人間関係をおつくりになられたということですね。直接昨年度も出向いて話をさせていただいたということで、ありがとうございます。

なぜ今、校内教育支援センターにその子供たちが通ってこないのか。その理由を探れるといいかなと。年度初めでやる気になっているということはきっとあるだろうけど、それだけではないかもしれないし、何かほかに理由があるんじゃないかなと思っております。

○ **教育委員（梶田知靖君）** はい。その先生に、もしまた支援センターのほうに戻ってくるときには、そのお子さんたちへの声かけの中で、何が駄目でこっちへ戻ってきたのかわかれば、その答えを私に教えてもらえないかお願いしました。

○ **教育長（堀部好彦君）** そんなところまで話をさせていただいて。そうですか、ありがとうございます。

私の予想なのですが、なぜ行けているのかというのは、年度初めなので新鮮な気持ちが湧き上がってくるというのが1つ、今年頑張るぞというのがあるでしょうね、さっき言った。もう一つは、駄目でもあそこがあるからと。自分の居場所が、校内教育支援センターという居場所があるから、だからちょっと頑張ってみようかというのがあるんじゃないかということも思っております。

校内教育支援センターの教育内容、やっておられることについて主体的に調べようとしてくださっていること、ありがとうございます。

○ **教育委員（小栗照代君）** こんにちは。

私も同じく4月1日、新規採用教職員研修会のほうに皆さんと一緒に参加させていただきました。毎年私すごい楽しみにしてしまっていて、今年も新任の皆さん、初々しい姿がとても印象的で、お一人お一人が思いを持って、しっかりと心構えでいらっしやっして、その姿は頼もしいなと思いつながら、これからぜひ可児市の子供たちのために頑張つていただきたいな、応援したいと思つております。

それから4月7日、東可児中学校さんと桜ヶ丘小学校さんの入学式のほうに行つてまいりました。まず東可児中学校さんなんですけれども、校長先生の式辞のときにスライドが用意されていまして、アニメの「スラムダンク」のお話をされました。

すごい人気のある、生徒にも大変なじみのある有名なアニメなんですけれども、その中で、名言で「諦めたら試合終了ですよ」という言葉があるんですけれども、それを引用しながら校長先生がお話をしてくださつて、新しいスタートに向けた前向きなメッセージを伝えていらっしやつたというのが大変印象的でしたし、会場全体もみんなが校長先生のスライドを見ながら、お話を聞きながら自然に引き込まれながら、新中学1年生の生徒たちも真剣に耳を傾けているという感じが感じられました。

続いて、桜ヶ丘小学校さんなんですけれども、こちらのほうは保護者の方1名と新小学校1年生の子が隣同士に座つて入学式を迎えるというのが何年か前からされていたんですけど、今年もそういう形でお隣同士に座つて入学式を迎えられました。

こちらでは、校長先生が絵を描いた模造紙を演壇の前のところに掲げながら、新入生に語りかけるようにお話をしてくださつていまして。見た目にもかわいらしいイラストが描いてあったりとか、すごく温かい雰囲気です子供たち一人一人に話しかけるようにして、校長先生が温かいメッセージを伝えられたのは印象的だなと思つました。子供たちにとってすごく分かりやすく、親しみやすい工夫がされていらっしやつて、形式的な校長先生の偉い方のお話というだけではなくて、すごく親しく感じられて、子供たちにとって、そういう寄り添つた温かみのある演出がすばらしかつたなと思つました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本当にいいお話をありがとうございました。

新規採用教職員の研修会のときなんですけれども、小栗委員は事業主であられるので、新入社員とか、自分の部下というか、社員と比べて何かを見るというようなことってありますか。楽しみにしているという。

○ **教育委員（小栗照代君）** そうですね。ちょうど同じ日に、弊社は小さいんですけど、1人新入社員が入つてきたので、午後から入社式をしたんですけれども、やはり同じようというよりは、毎年母が子供をみたい気持ちで迎えられるのもありますし、全く社会のことが分からないで来て、きっといろいろと思われているんでしょうけれども、その中で頑張つてほしいなという気持ちはすごく感じます。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本当になるほどと思う。校長も全く似たような感情になるんじゃないかと思つます。20代の若い先生が入つてくると、息子や娘みたいな気持ちにもなつていくことはあるんだろうとも思つます。

それから、入学式の校長先生方のそれぞれの持ち味が出るというのは、本当にそれも感じます。やっぱり、だから校長先生の持ち味が出るような、校長先生が働きやすいような働きかけというか、環境を私たちがつくつていくということは大切じゃないかと改

めて思いました。ありがとうございました。

- **教育委員（長井知子君）** こんにちは。よろしくお願ひいたします。

私も4月1日の新規採用教職員研修会と、4月7日に中部中学校と旭小学校の入学式に行ってきました。今日は、その中で入学式のお話をさせていただきたいと思います。

まず中部中学校ですけれども、佐野校長先生が力のある学校づくりをしたいということをおっしゃっていました。新たな力を身につけようと挑戦していると、周りの誰かが支えてくれる、力を身につけることで次の目標が見えてくると子供たちにエールを送っていました。蘇南中学校にいらっしゃるときに、学校訪問ですごく印象に残っているのが、私はやりたいことがいっぱいあるんですという熱い気持ちをお聞きしていたので、新たに今回中部中学校にいらして、またどんなことをされるのかなということに期待がいっぱいになりました。

旭小学校の入学式は、石黒先生が新たに赴任されて、すごく、今年から初めて校長先生になられたのに、自信にすごく満ちあふれていて、すごくおきれいでした。

- **教育長（堀部好彦君）** 輝いていたということですね。
- **教育委員（長井知子君）** 輝いていました。すごくおきれいでした。
- **教育委員（長井知子君）** 旭小学校は校長先生と教頭先生が女性なので、私は女性の校長先生はすごく個人的にいいなと思っているので、女性2人でどんな学校をこれからつくっていらっしゃるのかなと、とてもまた楽しみにして帰ってきました。以上です。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

石黒校長先生のお話もうれしかったですね。女性管理職のことなんですけれども、これは市役所も同じなんですけど、女性の持ち味を経営に生かしていく。男性にはない持ち味がやっぱりあると思うので、そういった意味で、男性ばかりの職場ではなくて女性も管理職として活躍している、そんな職場であるべきだなと思ったときに、可児市において、教頭先生の中で女性管理職、結構いらっしゃると思って、一方で、校長先生になるとちょっとまたハードルが違うみたいで、女性の校長先生はまだまだ少ないという思いです。私としては、女性管理職を育てていくということも教育委員会の大きな仕事のうちの一つだと思っています。ありがとうございます。

- **教育委員（瀨川登美子君）** よろしくお願ひします。

私も4月1日に新規採用教職員研修会に初めて出席させていただきました。すごく新しい風を感じました。私も初めてこの会に出席しましたし、新しく入られた方もすごくどきどきしながらその場にいらしているんだなというのが感じられました。

すごく勉強していらっしゃるんだなと思ったのは、教育大綱に基づいた言葉を御挨拶の中にたくさん含めていらっしゃって、寄り添うとか、個性を大事にとか、地域との関わりをとか、本当に文言がこのまま本当に勉強されているんだなと思って、本当に感心しました。

教育は、どこでもこうやっておっしゃるのかもしれないけど、可児の未来を担っていると本当に思っていて、先輩方も大事に育てていただけたらいいなと思いました。

私もこういう会議に初めて参加させていただいたときに、すごく皆さんがサポートしてくださって温かい気持ちになったので、きっと新しく入られた方もそういう気持ちを味わいながら、安心してそういう職場のいいところを感じてほしいと思っています。教

師としての矜持を本当に持ち続けて取り組んでいただけたらいいなと思っています。

あと、4月7日に西可児中学校と春里小学校の入学式に出席させていただきました。西可児中学校は、校長先生が以前は中部中学校にいらした校長先生で、規模がすごく小さくなって、大きいときはできなかったことが小さくならちょっとできるかもとおっしゃっていて、すごく期待が感じられました。まだ慣れないけれども、慣れていきたいとおっしゃっていました。保護者の方への気遣いもすごく細やかで、すてきな校長先生だなと私は個人的に思いました。

春里小学校なんですけれども、本当に少なくとも37名の入学者だったんですけれども、これは本当に私の個人的な意見で、呼名をされないんだそうなんです。一人一人お名前を呼んで、「はい」というふうにお返事するのをされないんだそうなんです。

- **教育長（堀部好彦君）** 入学式、今って名前呼ばなくなってきたんですね。
- **教育委員（梶田知靖君）** お子さんの名前ですよ。呼ばなかったと思います。
- **教育委員（瀬川登美子君）** そうなんです。私、自分の子供はずっと名前を呼んで「はい」というのが、そういうのがスタンダードだと思って過ごしてきたので、あっ、呼名がないんだ、ちょっと何か寂しいなと私は個人的に思いました。小学校のお子さんって、まだまだちゃんとしようと思うんだけど、気持ちもうきうきして、ちょっと整列もなかなかできない。そういうときも支援員さんがすごくサポートしてくださって、入学式に行くまでの間に「おめでとうございます」とお声がけをしたら、ちゃんと「ありがとうございます」と言えるお子さんもいらっしゃるし、そうでないお子さんもいらっしゃるけれども、あっ、こうやって御挨拶するんだみたいな顔で見えてくれて、すごく温かい感じがしました。

なので、保護者の方の気持ちも酌んで、37名ならお名前を呼んでもいいのかしらともちょっと思ったり、校長先生とお話ししたら、中に、みんながいっぱいだとお返事をするのがすごく緊張して言えないお子さんもいらっしゃるから、なくなっていったんですね、多様性なんですよねとおっしゃっていたので、それも分かるんですけど、きっと保護者の方は、初々しい子供さんの、きっと幼稚園のときも卒園式でされたと思うので、お返事が聞きたかったかなと思いつつ帰ってきました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** なるほど。入学式、卒業式もさま変わりしているという中で、多様性というところで折り合いをつけて行事が変わってきているということもあり、いろいろな考えがあるということですね。

それと、今皆さんのお話をお伺いして、入学式での校長先生のお姿をお伝えいただいたんですけれども、大変私もうれしかったです。それぞれの校長先生が学校だよりも感じたんだけど、入学式でも新しい新たな気持ちで頑張ろうとやっておられることが本当にありがたいと思っています。

事務局の者と会議で確認をしていることの中に、私が一番教育委員会で大切にしたいこととはと言っていることの中に、校長先生、校長会との信頼関係、よい関係をつくっていききたい。これが本当に全てにつながると思っているので、そういう話をしています。そういった観点からしたときに、校長先生方が今持ち味を生かしてそれぞれ頑張ってみえる、いいスタートを切ってみえるというのは本当にありがたいと思いました。ありがとうございました。

## 議事

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、議事に入ります。
- **事務局長（宮原伴典君）** 議案書のほうを御覧ください。  
表紙をめくっていただいて、裏ページのほうに目次があります。  
目次のとおり、本日は報告が4件、議案が2件となります。  
まず、報告第3号が令和8年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動について、報告第4号が可児市学校運営協議会委員の委嘱について、報告第5号が可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、報告第6号が可児市社会教育委員の解嘱及び委嘱について、議案第13号 令和8年度可児市教育委員会の方針と重点について、議案第14号 令和8年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会の設置について、以上6件についてになります。よろしくお願ひします。
- **教育長（堀部好彦君）** 本日、その他の不登校児童生徒の状況について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については非公開といたします。

それでは、報告第3号 令和8年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動についてを議題といたします。

- **教育総務課長（倉知真弓君）** お手元の議案書の1ページを御覧ください。  
報告第3号 令和8年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動について。  
令和8年度可児市教育委員会事務局職員の人事異動について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求める。令和8年4月24日提出、可児市教育長 堀部好彦。  
記、専決処分書。  
可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和8年4月1日専決、可児市教育長 堀部好彦。  
記、令和8年度の可児市教育委員会事務局の人事異動を次のとおりとする。  
1. 異動者の内訳数です。  
令和8年度の可児市教育委員会事務局の人事異動の異動者の内訳数は、転出者11人、転入者12人、計23名でございます。また、異動を伴わない昇格者が1人です。  
次ページの2. 異動内容につきましては、別紙1の可児市職員人事異動を御覧ください。  
4月1日専決の異動内容を記載してございます。可児市教育委員会職員には網かけしてあります。5ページに教育委員会の転出者と転入者、7ページからは階層順に異動職員の異動後と異動前を記載してございます。最後のページに教育委員会事務局職員の関係分を抜粋して記載してございますので、参考にしてください。以上です。
- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありませんでしょうか。

よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

それでは、この件については御承知おきください。

次に、報告第4号 可児市学校運営協議会委員の委嘱についてを議題といたします。

○ **学校教育課長（上北泰久君）** お願いします。

議案書の3ページを御覧ください。

報告第4号 可児市学校運営協議会委員の委嘱について。

可児市学校運営協議会委員の委嘱について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求め。令和8年4月24日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和8年4月1日専決、可児市教育長 堀部好彦。

記、可児市学校運営協議会委員を次のとおり委嘱する。

1. 名簿、次ページから10ページのとおり。
2. 委嘱期間、令和8年4月1日から令和9年3月31日。

委嘱理由、任期満了による。

4. 委嘱人数、120人。

なお、4ページより、今渡南小学校から順番に掲載しています。名簿の備考欄には、継続の方と新規の方が記載されています。今渡南小学校9人、土田小学校9人、帷子小学校・広陵中学校7人、春里小学校・南帷子小学校・西可児中学校11人、旭小学校9人、東明小学校9人、広見小学校9人、桜ヶ丘小学校・東可児中学校19人、今渡北小学校10人、兼山小学校9人、蘇南中学校10人、中部中学校9人、以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありませんでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

次に、報告第5号 可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

○ **教育総務課長（倉知真弓君）** 報告第5号でございますが、堀部教育長と梶田委員につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定によりまして、自己に直接の利害関係のある案件でございます。したがって、本件議事に参与できないことになっておりますが、同項ただし書の規定によりまして、教育委員会の同意があれば、会議に出席し、発言することができますので、取扱いについて御検討お願いいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいま事務局の説明、御提案がございましたが、この点について御異議ございませんか。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、このまま出席を続けるということにしたいと思います。  
では、議事について。

- **学校給食センター所長（後藤道広君）** 議案書11ページのほうを御覧ください。  
報告第5号 可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について。  
可児市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求める。令和8年4月24日提出、可児市教育長 堀部好彦。  
記、専決処分書。  
可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和8年4月1日専決、可児市教育長 堀部好彦。  
記、可児市学校給食センター運営委員会委員を次のとおり委嘱する。
1. 名簿、次ページのとおり。
  2. 委嘱期間、令和8年4月1日から令和9年3月31日。
  3. 委嘱理由、任期満了による。
  4. 委嘱人数、13人。
- 次のページに委員の名簿を掲載してございます。こちらの13名の方が令和8年度の委員となります。以上です。
- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありませんでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

特に御意見ないようですので、この件は原案のとおりとすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これについては原案のとおり承認いたします。  
次に、報告第6号 可児市社会教育委員の解嘱及び委嘱についてを議題といたします。

- **地域協働課地域支援係長（瀧花英志君）** 議案のほうは13ページをお願いします。  
報告第6号 可児市社会教育委員の解嘱及び委嘱について。  
可児市社会教育委員の委嘱について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求める。令和8年4月24日提出、可児市教育長 堀部好彦。  
記、専決処分書。  
可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和8年4月1日専決、可児市教育長 堀部好彦。  
記、可児市社会教育委員を次のとおり解嘱及び委嘱する。  
解嘱委員、氏名、伊佐治晃。  
解嘱理由、可児市小中学校校長会役員交代による。  
解嘱日、令和8年3月31日。  
2人目、氏名、田中康順。  
解嘱理由、可児市幼稚園教育協議会会長の退任による。

解嘱日、令和8年3月31日。

委嘱委員、1人目、氏名、石黒智子。

住所、可児市大森2078番地3、旭小学校の住所になります。

委嘱理由、可児市小中学校校長会役員の交代による。

委嘱期間は、前任者の残任期間になります令和8年4月1日から令和9年3月31日。

2人目が、氏名、池田薫。

住所、可児市緑ヶ丘二丁目188番地1、トキワ幼稚園の住所になります。

委嘱理由、可児市幼稚園教育協議会会長の就任による。

委嘱期間、こちらも前任者の残任期間になります令和8年4月1日から令和9年3月31日です。

説明は以上となります。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

よろしいですか。

[挙手する者なし]

特に御意見ないようですので、この件は原案のとおりとすることに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

異議がないようですので、これについては原案のとおり承認いたします。

- **地域協働課地域支援係長（瀧花英志君）** ありがとうございます。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

(地域協働課地域支援係長退席)

次に、議案第13号 令和8年度可児市教育委員会の方針と重点についてを議題といたします。

- **事務局長（宮原伴典君）** それでは、議案書15ページを御覧ください。

議案第13号 令和8年度可児市教育委員会の方針と重点について。

令和8年度可児市教育委員会の方針と重点を別紙のとおり定める。令和8年4月24日提出、可児市教育長 堀部好彦。

別紙2の資料を御覧ください。

この方針と重点につきましては、可児市教育大綱、可児市教育基本計画に上げた目標を実現するため、年度当初にそれぞれの所属により取り組む施策及び内容を上げ、年度終了後には事務の点検・評価を実施することとしています。

この後、所属ごとに各施策の取組を説明させていただきますが、先に私のほうから令和8年度予算の概要を説明させていただきます。

ページめくっていただきまして、1ページを御覧ください。

令和8年度の予算の概要になります。

令和8年度の一般会計の総額は393億3,000万円で、昨年度と比べて2.1%の増額となっております。令和8年度の予算は、昭和57年の市制施行以降で最大規模の予算となっております。そのうち教育費は一般会計全体の16.1%、約63億4,000万円で、昨年度と比べて0.3%の減額となっております。

教育費63億4,000万円のうち、教育委員会所管分の予算は小・中学校費、教育総務費と保健体育費に含まれる学校給食センター費となり、約44億5,000万円、一般会計予算の11.3%となり、可児市の一般会計予算の約1割が学校教育に配賦されています。

2ページには、教育振興基本計画の基本目標と施策の体系一覧を掲載しております。

3ページ以降には、この施策に対する各課の取組を掲載していますので、各所属長からそれぞれ説明させていただきます。

○ **教育総務課長（倉知真弓君）** 教育総務課です。

資料の3ページを御覧ください。

教育総務課の方針としましては、学校施設の計画的な整備・改修を行うということ。それから、市長と教育委員会が相互の連携を図りつつ「笑顔の“もと”」を育む教育行政を推進するということを方針としております。

施策ごとの重点項目ですが、まず、安心できる学校施設の管理・整備につきましては、引き続き可児市公共施設等マネジメント基本計画に基づき、計画的に学校施設を整備してまいります。今年度は小・中学校のトイレ大規模改造工事を引き続き行うということで、小学校は旭小学校、東明小学校、広見小学校、兼山小学校、土田小学校、帷子小学校、南帷子小学校、中学校は西可児中学校、東可児中学校、広陵中学校のトイレを洋式化する工事を実施します。

また、昨年に引き続き、広陵中学校でのエレベーター設置工事を実施します。また、次年度以降の小・中学校屋内運動場空調設備の整備に向けてプロポーザルを行います。ほかに、学校給食センターの厨房設備の更新に伴う工事等を実施します。

新たな熱中症対策としまして、校舎等に冷水器、屋内運動場にスポットクーラーを設置します。

次に、効率的・効果的な教育行政の推進につきましては、教育委員の皆様と相談しながら教育委員会会議や学校訪問などを実施していきますので、よろしく願いいたします。

なお、4ページの主な事業ですが、小学校施設大規模改造事業の項目に営繕工事費とだけ記載しておりますが、先ほど説明しましたトイレ洋式化改修工事の事業費となります。また、中学校施設大規模改造事業の項目も同様に、営繕工事費につきましては各中学校のトイレ洋式化改修工事や広陵中学校のエレベーター設置工事の事業費となります。以上です。

○ **学校教育課長（上北泰久君）** 学校教育課です。

5ページを御覧ください。

まず、課の方針については4つ掲げました。学びの環境整備として、本年度は熱中症対策の取組としてみまもりオアシスの実施、水泳委託事業など、その検証などを行い、軌道に乗せていく年度と位置づけています。校内支援センターを13校に拡大し、各校の実情に合わせ、取組の支援を充実させます。

続いて、重点項目について説明させていただきます。

目標1-1は、心の教育の充実です。各学校では「ひびきあいの日」の取組が位置づいています。また、いのちの授業を実施し、命の貴さや他者への思いやりを実感させ、豊かな心を育みます。

目標 1-2 は、コミュニケーション能力の向上です。今年度も a l a と連携してココロとカラダのワークショップを行うことで、伝え合うことの楽しさを味わえる取組を計画していきます。

目標 1-3 は、体力の向上と健康増進です。体育の授業を中心としながら、休み時間や部活動を通して体力・運動能力の向上を図ります。水泳授業では、民間のインストラクターが泳法を段階的に指導します。

目標 1-5、幼児教育との連携です。教育研究所の職員が担当し、幼保小の連携強化に取り組んでいきます。幼保小連携推進会議などを通して、幼保小の円滑な接続を図ります。

目標 2-1 は、多様な学びを支援する教育体制の充実です。日常生活で困り感を持つ児童・生徒によりよい支援を行うために校内教育支援センターを拡充します。スマイリングルームとの連携などを強化します。特別支援の研修の充実、スマイリングルームの拡充後の多様な学びと支援のプログラムを推進します。

目標 2-2 は、国際理解教育の充実と多文化共生教育の推進です。A L T の活用や、ばら教室 K A N I による日本語初期指導体制をさらに充実させます。

目標 2-3 は、いじめの未然防止と早期対応の充実です。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣等により、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努めます。

3-1、確かな学力の育成として授業改善サポートチームが中心となり、「笑顔のもと」を育む授業の推進を目指していきます。

目標 3-2、キャリア教育の推進として各学年で計画している様々な体験活動を実施し、キャリア教育を推進します。

目標 3-3、I C T の活用の推進として 1 人 1 台のタブレットの端末を使い、校内でも校外でもタブレットによる学習を充実させていきます。I C T 支援員を配置して、支援体制を強化します。

目標 3-4 は、総合的な能力と個性を伸ばす教育の推進です。笑顔の学校公表会の実践を公表することで、教員の教育活動の向上を図ります。今年度は、春里小学校と東可児中学校が 11 月 9 日にウェブによる公開を予定しています。

目標 4-2 は、企業、地域団体との連携・協働です。コミュニティ・スクールを一昨年から全学校でスタートさせています。3 年目となる今年度は、さらに地域と連携した教育環境づくりを進めます。

支援体制-3 の効率的・効果的な教育行政の推進ですが、今年度より共同学校事務室に名称変更のうえ、学校の事務職員 1 名を統括室長として設置し、週 1 日の半日、学校教育課内で勤務し、学校と教育委員会、課内での共有等を行うとともに、さらに事務職員との連携を図っていけるよう動きづくりをします。

主な点については以上です。

○ **学校給食センター所長（後藤道広君）** 続きまして、学校給食センターです。

7 ページのほうをお願いします。

学校給食センターの施策としましては、安全で栄養バランスの取れたおいしい給食の提供と食育の推進になります。

今年度、重点的に取り組む内容としましては、食材に地産地消を推進して、子供たちに、可児市に愛着と誇りを持ってもらえるように地場産物を使った「がんばれかにかっこ！献立」を提供してまいります。

給食センター施設につきましては、夏休み等を利用した設備や調理機器等の更新や修繕を実施してまいります。また、将来的な厨房機器の更新や、屋根等の大規模改修のための工事設計業務を委託し、施設の維持管理を計画的に進めてまいります。

子供たちに食について正しい理解と習慣を身につけてもらうため、発達段階に応じた食育指導を引き続き実施してまいります。

給食費の徴収業務につきましては、可児市債権管理マニュアルに基づいた適正な事務により、収納率の向上につなげてまいりたいと考えております。また、給食費の無償化に伴う事務につきましても適正に行ってまいります。

給食センターからは以上となります。

○ **教育長（堀部好彦君）** 説明ありがとうございました。

これから、今説明があった各課の内容について御質問、御意見等、お伺いをしたいと思います。

その前に私から報告といいますか、1つ説明なんですけれども、こういった予算については、方針と重点及びそれを実現、具現していくための予算、事業についてはそれぞれの学校の管理職がきちっと理解をしていく必要があるだろうと思っています。一体可児市の学校教育にお金が幾らかかっているのかということです。学校経営という言葉がありますよね。経営といいながら、義務教育の小・中学校においては、お金は取り扱わないんですね、管理職はね。税金の取扱いはしないということで、正確に言えば学校経営ではなくて、学校運営ではないかなと私はいつも思っているんですけれども、そういった意味で、経営者としての、正確には経営者じゃないんだけど、経営者としての自覚を持っていただきたいという意味で、この予算についての説明は年度当初、校長会、教頭会で説明をさせていただいております。今年度も事務局長から、新任の事務局長なんですけれども、大変適切な説明をしていただいておりますので、御承知おきください。

では、初めに教育総務課について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

○ **教育委員（長井知子君）** 少し教えていただきたいんですけど、支援体制－1のところ屋内運動場にスポットクーラーを設置とありますが、屋内運動場は体育館のことですか。

○ **教育総務課長（倉知真弓君）** はい、体育館です。

○ **教育委員（長井知子君）** 分かりました。ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** そういったこと、もちろん結構ですので、何でも結構ですのでお願いします。

ほか、よろしいですか。

○ **教育委員（瀬川登美子君）** 広陵中学校にまだ私一度も行ったことがないので、どの辺にエレベーターが設置されるのでしょうか。

○ **学校教育課長（上北泰久君）** 体育館と3階の音楽室がありますが、すぐつないだところですよ。今工事しています。

○ **教育委員（瀬川登美子君）** 設置の目的は、何でしょうか。

- 教育総務課長（倉知真弓君） エレベーターが必要な生徒がいるためです。
- 教育委員（瀬川登美子君） 分かりました。ありがとうございます。
- 教育長（堀部好彦君） そういうものに教育委員会としてたくさんの予算を使っています。訪問された際にまた話題にさせていただければと思います。
- 教育委員（梶田知靖君） 今、国が、学校にエレベーターをとありますよね、たしか。
- 教育長（堀部好彦君） そのとおりです。
- 教育総務課長（倉知真弓君） 要配慮の児童生徒がいれば、その学校を優先して設置工事を行うこととなります。それ以外の学校については、大規模改修工事にあわせてエレベーターの設置を行っていく予定です。
- 教育長（堀部好彦君） こちらも本当にすごいお金がかかっているところで、学校施設に関しては今のエレベーターしかり、それから大規模改修工事もしかり、中東情勢が本当に不安定な状況で、いろいろなものがまたさらに値上がり、価格上昇だとか、それから物が入ってこないとかもあるんですけど、大丈夫でしょうか。今聞いてもわからないかもしれませんが、その辺の見通しは。
- 教育総務課長（倉知真弓君） 見通しといたしますか、今回の中学校のエレベーターも本来は3月で完了するはずだったんですけども、やはり物資が調達できないということで6月まで工期が延びています。
- 教育長（堀部好彦君） やっぱりそういう状況なんですね。
- 教育総務課長（倉知真弓君） はい。トイレ工事もですけども、心配はしております。
- 教育長（堀部好彦君） そうですよ。その辺り、年度内に完了が目標ですよ。
- 教育総務課長（倉知真弓君） 目標です。
- 教育長（堀部好彦君） 本当に苦労かけます。よろしくお願いします。  
それから、「笑顔の“もと”」奨励賞、今年度で3回目、3年目になりますので、学校訪問の折に宣伝しておいてください。ぜひ今年もよろしくお願いしますということで、よろしくお願いします。

ほか、教育総務課につきましてよろしいですか。

- 教育総務課長（倉知真弓君） 補足となりますが、スポットクーラーについて、さきほど屋内運動場は体育館ですと申し上げたんですけども、中学校には格技場がありまして、中学校は体育館に2つ、格技場に2つの計4つ設置することになります。
- 教育長（堀部好彦君） ほか、よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

では次、学校教育課についてお願いします。御質問、御意見等よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

民間プール、これで今年度全ての学校にということで予算をつけていただいて大変ありがたいなあと考えております。学校も喜んでおります、これはね。

それについてなんです、これは質問ではなくて教育委員の皆さんにお願いなんですけれども、この業者委託、民間プールの使用について、具体的な状況はどうですかと訪問されたときに様子を聞いていただいて、またここで報告をいただけるとありがたいなあと考えています。

それと、5ページが一番下の「笑顔の“もと”」を育む授業の推進なのですが、先ほどのリーフレットにも位置づいているものになりますが、この授業については、学校を訪問されたときに授業を見てくださると思いますので、「笑顔の“もと”」を育む授業の推進って、一体どういうことなのかということについては、おいおい理解をしていただきたいと思っております。

ここでお願いなんですけれども、学校教育課長、この場で、つまり教育委員会会議の場で、「笑顔の“もと”」を育む授業について担当指導主事から説明をいただけるとありがたいと思いますが、よろしいですか。

- **学校教育課長（上北泰久君）** 分かりました。
- **教育長（堀部好彦君）** 次回以降なるべく早く、議題に入れていただくようによろしくをお願いします。

ほか、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

では、学校給食センターにつきましてはどうか。

いわゆる給食費の無償化についてなんですけど、保護者、市民に御理解いただけるような説明というのは簡単ではないかなと思っております。その辺りの見通しは持っていたかと思っておりますが、ここで少し説明いただけますか。

- **事務局長（宮原伴典君）** 先般、その部分について市長と協議させてもらっているわけですけど、今年度から小学校につきましては月5,200円（1人）の予算を国のほうでつけていただいているんですが、実際5,200円では収まらないので、いわゆる完全な無償化じゃなくて、それを超える分は市が公費でいうところがありまして、本来なら国の責任の下、全額をとというのがあったんですが、それが一部公費負担があるということで、これは全国の自治体が市長はじめ知事もおかしいじゃないかという話は上がっていたんですが、なかなか国も予算が大きくかかるものなので難しいと。ただ、可児市としては超える部分は公費でということでもあります。

ただ、本来でしたら、今年小学校、来年度中学校という話があるんですが、どうも中学校は難しい情勢ということなので、今年度また協議して、教育委員の皆さんにも御相談させていただく形になるかと思っておりますが、中学校の給食費、来年の部分については、今の時点ではこうなるとかということとは言えない状況なんですけど、非常に厳しいところがあるのかなと思っております。

あと同時に、先ほどから出ています物価上昇があつて、それに応じて国の金額が上がればいいんですけども、多分5,200円から、令和9年度以降上がるような気配はあまり感じられないので、その部分について、令和8年度の部分については5,200円を超える部分は満額、小学生については市が出すということは決定しておりますが、令和9年度以降の部分については今後の予算協議とか、いろいろなところで最終的には決定していくということになりますので、保護者の方とか、いろいろな方々の中では、今年無償化になったので、無償化というか市が無償化的な措置をやっているということなので、令和9年度以降もこれは継続されると思われるかもしれませんが、必ずしも今の時点では決まっておりません。ただ、なるべく保護者の方々の負担感を減らして子育てしやすい可児市を実現していくところでもありますので、その部分についてはいい方向で落とし

どころが見つければなど思っていますので、教育委員の皆さんも御理解いただければと思います。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

大変微妙な、複雑なことということで、こういったことを市民、保護者に理解していただくというのは簡単じゃないだろうなと思っています。保護者にとっては、給食費がただになるの、えっ、ただにならないのの世界になってしまいがちなので、そうじゃなくて、市町村の公費が使われているんだということを上手に説明していく必要があると思っています。ありがとうございます。

それから、学校給食についてもう一点お願いします。

これも先ほどから言っている中東情勢のあおりを受けて、物資調達が大変だという話が出ましたけれど、給食の食材の調達にも影響してくるかもしれないと思っているんですけども、その辺り何かわかっている状況はありますか。

○ **学校給食センター所長（後藤道広君）** 今のところ、材料の調達につきましては、そういった話は特には聞いておりません。ただ値段がどんどん上がっているのは確かではありますが、中東の情勢によるものという話はまだ今のところ聞いておりません。

○ **教育長（堀部好彦君）** 本当に学校給食センターも課題山積だろうなど、こういう情勢を考えると。また進捗の状況をお知らせいただけるとありがたいと思っております。ほか、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

それでは、この件については原案のとおりとすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については原案のとおり承認いたします。

次に、議案第14号 令和8年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会の設置についてを議題といたします。

○ **学校教育課長（上北泰久君）** お願いします。

議案書16ページを御覧ください。

議案第14号 令和8年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会の設置について。

可茂採択地区内の各市町村において、種目ごとに同一の教科用図書を採択するため、「岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会規約（案）」を承認し、令和8年度岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会を設置することに同意する。令和8年4月24日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、岐阜県教科用図書可茂地区採択協議会規約（案）、別紙のとおりということで、別紙3のほうに記載してありますが、本議案は、令和9年度に使用する小・中学校の教科用図書の採択に当たり、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき協議を行うものです。令和5年度に小学校、令和6年度には中学校の教科書の採択替えを行っています。令和9年度は、引き続き同一の教科書を使用することについて協議をすることになります。

本年度は可児市が事務局となっています。実質的な協議は、規約により地区採択協議委員による協議の場を設けず、市町村、学校組合、教育委員会、教育長による教育長会を協議の場といたします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

教科書を採択するという事は、大変複雑な手順と申しますか、考え方というのがございます。この場ではあえて説明は省きますけれども、採択替えのある年にじっくり説明をしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

特に御質問、御意見はないということによろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

御質問、御意見もないようですので、この件については原案のとおりとすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、原案のとおり承認いたします。

### 報告事項

- **教育長（堀部好彦君）** 次に、報告事項をお願いします。

可児市教育情報セキュリティポリシーの公表についてです。

- **学校教育課長（上北泰久君）** 別紙4を御覧ください。

別紙4、可児市教育情報セキュリティポリシーについてです。

可児市教育情報セキュリティポリシーを令和6年4月に策定していますが、このたび、地方自治法の改正により、この4月1日から教育委員会においてサイバーセキュリティを確保するための方針を策定し、公表することが義務付けられました。

第1章、御覧いただきまして、教育委員会ではこの第1章の基本方針を法律に基づくサイバーセキュリティを確保するための方針として位置付け、ホームページで公表をいたしましたので御報告いたします。今後、更なるサイバーセキュリティの確保を図ってまいります。

なお、第2章の対策基準につきましては、具体的なセキュリティー対策を記載していることから公表は行っておりません。本日お配りしました資料につきまして、非公開部分の第2章もある全文をお渡ししておりますので、お取扱いに御注意をお願いいたします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

では、第2章以降の取扱いについてはくれぐれもお気をつけてください。お願いします。

続いて、教育長への事務委任により委嘱又は任命した委員についてです。

- **教育総務課長（倉知真弓君）** 別紙5を御覧ください。

可児市教育長に対する事務委任規則及び規程に基づき、教育長が任命や委嘱をする委員の名簿になります。

昨年度同様、該当する委員の名簿を取りまとめ、一括して報告させていただいており

ます。

なお、本案件は教育委員会の議決事項ではありませんので、例年どおり情報提供として報告させていただくものです。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** 今説明がありましたように、各学校等の委員など、教育委員会から教育長への事務委任により委嘱または任命した委員等の名簿になります。これについては報告ということですので、よろしく願いをいたします。

#### 各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項です。
- **事務局長（宮原伴典君）** 私からは、市の組織的なことを御説明させていただきたいと思えます。

令和8年度から、高齢福祉課に重層的支援事業係という係が新設されております。多分聞かれたことはないかと思いますが、この係は何をやるかといいますが、各教育委員会ですと義務教育までのお子さんを支援していて、子育て支援課というところが子供から児童福祉法にある18歳までというくりなんですね。福祉支援課というのは、障害手帳を持っている方であれば子供から高齢者まで支援していくという形で、それぞれの支援、いわゆるよく市民の方から縦割りと言われて、その制度のはざまに陥る方々がおりました。

例えば、小学校・中学校から引き籠もって学校に不登校であった方は、教育委員会とのつながりというのは中学校卒業までなんですね。そこでどうなるかという、子育て支援課は便宜上、児童福祉法に基づいて18歳までの方を所管しているんですけども、かといって、積極的にアプローチがあるかという、そうでもない。ただ、そこで手帳を持っている子であれば、福祉支援課が引き続きサポートはしていくんですけども、手帳がない方が大半なんですね。

そうになってしまうと、そこから引き籠もったまま年を重ねていって、8050問題って聞かれたことありますね。80歳の親さんが50歳の子供を支えるという方々のケースで、これは一部なんです、高齢福祉課がつかんでいる8050に該当する50歳前後のひきこもりの方、地域包括支援センターの職員が訪問したお宅にたまたまひきこもりの50歳の息子さんがいるのを発見したケースが約百何十人といらっしゃると。ということは、それに発見していない方々がもっといるわけなんですね。

これが、放っておくとどうなるかという、将来的にどうしても御年齢に伴って親御さんが先に亡くられるというところ。そうすると、その方々が生活するすべがない。貯金をたくさん残してもらえていけばいいんですけども、なかなかそういうわけにもいかない、となると生活保護とかになっていくということは、日本全体でいうとかなりの公費がそういったところに使われることをなくすためにも、なるべく早い段階からアプローチして、専門家の方に言わせると、ひきこもりの方も30代までにはアプローチしておかないと、仕事とか社会に復帰するのは難しいと言われておりますので、そういった部分でのひきこもりをメインに対応する係ということなんです。

それが、こういったひきこもりメインでやりながらも、支援者支援ということで、学校の先生方とか、いろいろな方々がひきこもりの支援をすることがあると思うんですけ

れども、支援をする方がどうしようとバーンアウトして、これは福祉関係の施設の方ですと離職率が非常に高いんですけれども、燃え尽きて離職していく方を防ぐと。いわゆる支援者支援ですね。学校現場で言えば、教員支援にも当たるかと思うんですけれども、困った方々の支援の仕方とかを、庁内連携を取りながらサポートする係ができております。

ただ、今年から係ができたばかりで、ノウハウを積み重ねていくところですので、なかなか例えば学校現場でそれぞれ相談に来て、まだ難しいかもしれませんが、制度のはざまに陥って、支援が行き届かない方々がいないように市として体制を整えました。

これは、学校の現場においても少なからず影響を及ぼす事業であると思いますので、私のほうから説明させていただきました。もし、また詳しく知りたいということでしたら、また別途、所管係長等から説明させていただきますので、よろしく申し上げます。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

その件、大変関心があるんですけど、各校の校長に、特に中学の校長にそういった新たな仕組み、担当課があるということをぜひ知らせていきたいと思います。

私、校長を3校やらせてもらって、そのうちの2校が中学校でした。大変卒業時にいろいろな意味で心配な御家庭、子供がいらっしやって、保護者の教育力、経済力が非常に心配であると。子供も、このまま高校には何とか行ける場所が見つかったけれども、これからどうなるんだろうかと、ひきこもり心配じゃないかというような家庭がやはり今どき必ずあるんです。

私は校長として、その学校、川辺中学校と中部中学校でしたけど、川辺中学校のときには川辺町の役場の方といろいろ話をし、中部中学校のときには可児市役所の方といろいろ話をし、福祉部、福祉関係の課に、学校にも来ていただいて、当該の保護者にも説得してきていただいて、卒業までは私たちが面倒を見られる。3月31日までは私たちの責任においていろいろな支援ができるんですけども、それ以降どこに頼ったらいいのかということをごここではっきりさせましょうよということで、あなたのお子さんは、この役場のこの人ですよ。そういった顔合わせの話をしたりだとか、具体的な援助、金銭的な援助、何ができるかということをご私が間に入ってやった記憶があります。

まさにそういうことを、可児市の新たな仕組みの中でやっていただけるのかなと理解しましたので、ぜひ校長に、そのことを校長会で説明していただけるといいと思います。ぜひよろしく申し上げます。ありがとうございます。

○ **教育総務課長（倉知真弓君）** 教育委員の皆さんの学校訪問について、昨日日程表を送付させていただきました。例年どおり5月と7月に予定しておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（上北泰久君）** まず、先ほどもお話ありましたが、4月7日の入学式と始業式、入学式については、教育委員の皆様にご出席いただきまして、どうもありがとうございました。

市内の小・中学校の児童・生徒数ですけれども、現段階では7,486名、前年度の同じ時期より232名実際に少なくなっています。

16校とも落ち着いて、この4月スタートしていると聞いています。初日の欠席者数ですが、小学校・中学校合わせて148名、参考までに一昨年が167名、昨年は164名ということで年々減少傾向にあるを思っております。このまま順調に登校できるように見守りたいと思います。

外国人児童・生徒数は現段階では938人と、前年度の同じ時期に比べて34名増えています。特別支援学級や通級指導教室に通う児童・生徒数は919人と、前年度の同じ時期に比べて77人も増えています。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

児童・生徒数、本当に可児市もどんどん減ってきました。私が就任した5年前、6年前、あのときにはどの学年も大体900人、だから900人掛ける9学年で8,000人超えていました。今は、800人台の学年と700人台の学年が出てきた。ずっと見てみると、もう二、三年で、全ての学年で700人台になります。そうすると700人掛ける9学年で6,300人です。だから、7,400人というのは700人台と800人台が混在しているという状況です。なので、そういった少子化の波が可児市においても確実に迫ってきているということで、学校の規模の適正化、この辺りが大きな課題になってきていると思っています。ありがとうございます。

○ **教育研究所主任指導主事（杉本和昭君）** よろしく申し上げます。

では、資料がありますので、そちらのほうを御覧ください。教育研究所よりという資料になります。

1ページ目ですが、先ほど教育長からも話がありましたが、可児市の学校教育の方針と重点に関わる研究所の各担当を示しております。現在力を入れています包括的な教育支援は、不登校対策、特別支援教育、多文化共生といった複数の指導分野の連携により、子供の様々な不適應を未然に防止することを目指しています。それぞれの指導分野を資料に記載してあります各指導主事が担当し、お互いに連携を図ることで未然防止を基本とする支援体制の構築に力を入れてまいりたいと考えています。

2ページ目を御覧ください。

2ページ目は、教育研究所及び教育支援センタースマイリングルームの業務分担を示しております。後ほどの時間に御覧いただくと幸いです。

3ページ目から4ページ目にかけては、今年度の研究及び研究所主催の研修を示しております。初任者を含め、教職員への研修により指導力向上を目指してまいります。

3ページ上段に(1)とありますが、今年度の「笑顔の学校」公表会は、春里小学校と東可児中学校になります。昨年度同様、動画での発表となります。令和9年度の公表会につきましては、コロナ前に行っていた参集型の公表会を考えております。詳細がまとまりましたら、また御案内させていただきます。

4ページから5ページですが、教育実習について示しております。岐阜大学や岐阜聖徳学園大学などからの教育実習の受入れを通して、将来の教員の育成に携わってまいります。

今年度も包括的な教育支援を大切にし、未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を育むことができるように、市内の小・中学校一丸となって教育実践を行ってまいりたいと考えています。以上でございます。

- 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。
- 学校給食センター所長（後藤道広君） 給食センターでは、現在私と栄養教諭で市内全ての小・中学校を訪問しまして、今年度の食に関する指導の授業についてお願いに回っております。

その中で、小学校でうれしいお話を伺うことができました。その学校では、朝の校内放送で、毎日その日の給食の献立を紹介することをされていまして、それが校内のモチベーションアップにつながっていると伺いました。給食で子供たちのやる気スイッチが入るのであれば、とても喜ばしいことだと感じております。

給食センターからは以上です。

- 教育長（堀部好彦君） 面白いですね。それは子供も絶対モチベーション上がりますね。どこの学校でしょうか。
- 学校給食センター所長（後藤道広君） 南帷子小学校です。
- 教育長（堀部好彦君） 南帷子小学校。ほかの学校にその実践を広めていくといいかもしれないですね。子供も給食までいようと。すごい。ありがとうございます。

今、各課から話がありましたが、御質問、御意見はありますか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございました。

#### 委員からの提案協議事項

- 教育長（堀部好彦君） それでは、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かございますでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

#### その他

- 教育長（堀部好彦君） では、次にその他にいきます。  
次回の日程等です。
- 教育総務課長（倉知真弓君） 次回会議の日程ですが、5月29日金曜日の午後2時から、場所は市役所4階第3会議室ですので、よろしくお願いたします。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） それでは、この日程につきましてよろしくお願をいたします。

結構時間がたっていますが、このまま続けさせていただいてもよろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

ありがとうございます。

では、これより会議を非公開とします。

（以下非公開）

(以上非公開)

**閉会の宣告**

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午後 4 時 02 分